

議長（杉原豊喜君）

それでは、以上で14番小柳議員の質問を終了させていただきます。

次に、18番大渡議員の質問を許可いたします。御登壇を求めます。18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

皆さんこんにちは。18番大渡幸雄と申します。ただいま議長より登壇の許可を受けましたので、一般質問をさせていただきます。

本年3月、旧武雄市、山内町、北方町による市町村合併により、新しい武雄市が誕生し、4月には新市長、新議員も選ばれました。今、9月議会において私自身初めての一般質問であります。緊張をし、足も震えております。よって、市長初め執行部及び職員の皆さん、市民の皆さん、そして議員各位、よろしく願いをいたします。

また、日本一若い樋渡市長の実力と行動力にはいつも敬意を表しているところでございます。質問の前に、先般福岡市内でありました福岡市職員による飲酒運転で幼い3人の子供の命が失われ、痛ましい事故に対し、被害者の方には心より哀悼の意を表すものでございます。飲酒運転をするなんてもってのほかではないでしょうか。全国的に根絶に向けて動き出しているようですが、やってはいけない当たり前のことに対して、今目覚めては少し遅過ぎるように思います。

また、県内において16日、秋雨前線の活発化により伊万里市、唐津市において犠牲になられた方々にも重ねてお悔やみを申し上げます。そして、17日、台風13号においても県内、市内で猛威をふるい、さんざんなる被害をもたらし、被害を受けられた県民、市民の方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日でも早い御回復を祈念申し上げます。また、そのとき市長初め職員の方々の迅速なる対応に対しても敬意を表するところでございます。

質問に入ります前に、まず先に訂正方をお願いいたします。通告には新市建設計画と書いておりますが、新総合計画へと訂正をお願いいたすところでございます。申しわけございません。

では、早速質問に入ります。新総合計画と地域審議会との整合性についてお尋ねをいたします。

先ほど申し上げましたとおり、ことし3月に市町村合併により1市2町が合併をいたしました。この合併によりいろんな課題もたくさんあることと思います。そこで、新総合計画はどのような手順により策定されるのか、お尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

前田企画部長

前田企画部長〔登壇〕

お答えをしたいと思います。

お尋ねの新市の総合計画の策定でございますが、担当としては企画部の企画課が担当いた

します。まず、総合計画の審議会、これは条例事項でございますが、24名の審議会委員さんで設置をしたいということで、審議会委員さんにつきましては市議会の議員、それから学識経験者、それから市民団体の代表者、それからあと公募の市民の方、24名で構成をしたいと考えています。

それから、市民の意見を反映するというので、まずは市民のアンケート、これは既に実施して取りまとめをしております。それから、計画の策定状況の中でパブリックコメントの意見も聴取したいということで考えています。

それから、当然地域審議会が旧1市2町ありますので、その審議会の意見も求めながら策定をしていきたいということで考えています。

それから、新市の総合計画の策定の基本ですが、これについては既に旧1市2町の段階でつくられました新市の建設計画がございますので、まずはこれを基本として重点施策の検討を行っていきたいということで、それとあわせて市長の具約の42、あるいは地域審議会の意見、それから市民の意見、こちら辺を盛り込みながら総合計画の策定に努めていきたいということで考えています。最終的には来年の3月の議会を予定していますが、市議会の議決を経て策定をするということになります。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

合併前にいろんな協議も合併協議会を通じてなされたと思います。その中で、いろんな取りまとめ事、決め事ですね、そういうのを多数反映していただくというようなことでございます。

また、その中でもアンケート、またパブリックコメント等も取り入れられるというふうなことだと思います。1市2町、この合併によって、やっぱり一番関心があるのが新しい市はどなるものかというふうな市民のお考えじゃなからうかと、私自身もそう思いますし、市民の方もそう思っておられるんじゃないからうかと思えます。反映がどこまでするものか、いろんな審議会等、新総合計画策定審議会ですか、名称はちょっとメモが遅くなりましたけれども、それとか、今後ずっと開催される地域審議会等の意見も十分入れてもらえるものだと思っております。

そこで、旧1市2町合併協議会で設置されました地域審議会、これは先般1回開催されたと聞いております。この地域審議会はどのように位置づけられるもの、立場的なものかお尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

前田企画部長

前田企画部長〔登壇〕

お答えしたいと思います。

地域審議会でございますが、これについては既に第1回目を7月27日に開催をしております。合併協議の中で旧1市2町それぞれに地域審議会を設置するというので、それぞれ15名の委員さんで構成をいたしております。その役割、任務でございますが、これは合併協議の中で、一つ目には新市の建設計画について、その変更、あるいは執行状況について市長の諮問に答えるということ、それから二つ目に新市の建設計画について市長に意見を述べるができること。それからもう一つは、三つ目にその他当該地域の振興に関して市長に意見を述べるということになっております。

今後につきましては、さっき言いました新市の総合計画の策定がっておりますので、それについてのいろんな意見を賜っていききたいというふうに考えているところでございます。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

この審議会の開催回数、この審議会の概要についてというコピーをいただいておりますけれども、年3回程度開催するというふうなことになるようです。1回開催されましたので、あと残り2回、回数にしては私はちょっとこれで大丈夫かなというふうにも考えておるところでございます。聞くところによりますと、次の開催は各旧市町でやると、もちろん旧市町で十分煮詰めて、ともに持ち寄るのがこの審議会のあり方ではないかと思うんですけども、あと2回で大丈夫かという危惧をいたしております。そのことと、この意見のまとめ、先ほど部長の答弁では来年3月の議会ということでしたかね、それをあわせて、この意見、まとめはいつごろ受けられるものか、御答弁をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

地域審議会は確かに年3回は私も少ないなと思っております。これは恐らく審議を進めていただくに当たっては、もう少しふやしましょうという意見を期待しております。私はふやしたいというふうに思っています。もう議論を徹底的にさせていただきたい。その上で3月に地域審議会から私の方に御意見をいただくというふうに思っています。それを踏まえて、先ほど部長から答弁があったように、3月の議会で御説明をし、議決をいただくという運びになっております。

なお、その際、私からお願いがあります。全国でいろんな総合計画、あるいはまちづくり計画といったときに、例えば、185億円の財政規模などに2兆円ぐらいの計画があるわけですね。どういうことかという、これを全部やったら、恐らくこれは100年ぐらいかかるか、あるいは財政が10倍から20倍かかる。したがって、私は武雄の身の丈に応じた、そして少し

背伸びをした計画の姿でありたいというふうに思っております。その際、地域審議会の皆さん、あるいは総合計画審議会の皆さんにこの場をかりてお願いをしたい、あと議会の皆さんにお願いをしたいのは、何か行うこと、それについては、これはやめた方がいいと、これは6月の議会でも答弁をしましたけれども、そういった時代的要請に応じてメリ張りのある総合計画にもしていきたいなというふうに私は今のところ思っております。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

私も市長から先に答弁をいただいたような感じもいたします。次の質問が、まとめは新総合計画にどのように反映させるのかという質問を準備していたんですけども、確かに市長言われるように、あれもし、これもしはもう絶対できない、財政的にもできないと思っております。しかし、市長がいつも言われるように重要性のあるもの、緊急性のあるもの、この意見の中で取りまとめが出た時点で、執行部の適切なる御判断を重ねてここでお願いをいたしたいと思っております。

この1市2町で、やっぱり地域的なバランスもありますし、あそこにあってここはないというようなことも皆さんよく言われております。その辺の必要性等も加味されて、十分に反映させていただきたいというふうに思います。この新市建設計画の中にも合併への期待というのが初めに載っております。この合併の期待というのが、やっぱり合併してよかったという結果になるような新しい武雄市づくりを望むものでございます。

次に、合併により旧北方町、山内町の庁舎の中に空き部屋が出てきております。この活用をどのようになされるつもりか、いろんなところからももう要望等も出てきておると思えます。空き部屋の活用方法としてどういうお考えをお持ちか、お尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

空き庁舎の有効活用については、御指摘のとおりいろんなところから御意見、御質問をいただいております。我々としては、市民サービスの向上という観点から、子育て総合支援センター、あるいは障害者総合支援センター、あるいは各種団体の活動拠点のスペースであったりとか、図書室、多目的ホール、ふるさとミュージアム、あるいは市民ミュージアム等々の機能をそこに集積をさせたい。そして、企業貸出事務所としての活用など、現在行政改革推進幹事会で具体的な検討、そして草案づくりを進めております。議会にもいち早く御説明をしたく思っております。

以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

先般、4月だったと思うんですけれども、この武雄市議会の中にあります地域活性化特別委員会でも山内、北方の空き部屋の視察を行っております。本当にもったいないようなところもありますので、早く有効活用を見出していただくようお願いを申し上げます。

この1市2町合併いたしまして、約半年弱経過する中で、本当に樋渡市長のかじ取りがみんなから注目されて、やっぱり合併してよかったと、樋渡市長になってよかったと言われるように、新しい武雄市づくりに努力をお願いいたしたく、微力ながら私は協力していくつもりでございますので、よろしくをお願いいたします。

次に、国、県、市道の橋梁の安全性についてお尋ねをいたします。

冒頭、登壇の折にも触れましたが、先般の福岡市海の中道大橋においての福岡市職員の飲酒運転事故による幼児3人の痛ましい死亡事故を受けまして、当市でも橋梁に歩行者用の高欄を設置している箇所があるかどうかお尋ねをするわけでございます。歩道がついていれば、歩道の外側にある車道側よりも反対側にあるところは人の高欄でいいというふうな設置基準もあるようございますが、当市におきまして国道、県道、市道において、そういう車道と歩道がある橋梁に対して歩道側に人用の高欄がある場所の把握はできておりますか、お尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

まず、市道の方からお答えをしたいと思います。

市道橋15メートル以上の橋梁が84橋ございます。このうち、車道部と歩道部が併設をしております橋梁が23橋ございます。これらについてはすべて歩行者、自転車用の転落防止さくを設置いたしております。

それから、国道、県道の分でございますけれども、国道で18橋のうち10橋が設置をされております。県道で30橋のうち21橋が設置をされておるといふふうに聞いております。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

かなりの数があるように思われます。なぜこういうお尋ねをするかといいますと、海の中道大橋というあの立派な橋ができております。その中で、あれはたしか歩道部は幅員5メートルぐらいあったんじゃないかならうかと思っております。今回の事故は、追突されて被害を受けたRV車が縁石を乗り越えて、なおかつ5メートルを縦断して高欄に当たり、それを

突き破り落下、転落死亡事故に至ったという経緯がありましたものですから、当市におきましてはそういう高さがある橋梁はそんなにないと思っております。要するに地面から橋梁の高さですね。例えば、海面から道路面、もしくは谷面から道路面、そんな高さがある橋梁はないと思いますが、何かのはずみでやっぱり打ちどころが悪いといいましようか、それを突き破って落下したときに、そういう事故が起こらないとも限らないという懸念のもとにお尋ねを申し上げました。

また、その設置基準、例えば縁石の高さ、また歩道部の幅員、これは設置基準があって自転車、人用の高欄でいいかと思うんです。その設置基準をお示しいただきたいと思います。あくまでも歩道に対しての人用、自転車用の防護さくでいいという設置基準をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

歩車道境界の縁石の高さは、歩道幅と関係なく車道に対して15センチが標準ということで設置基準はなっております。

〔18番「幅員は」〕

幅員は関係なく、そういう基準になっているということでございます。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

その縁石の高さは歩道幅員に関係なく15センチが標準ということでしょうか。私がお尋ねしているのは、歩道の幅員が、例えば3メートル以上あれば、もしくは2メートル以上あれば、歩道部の防護さくは人と自転車の防護さくでいいという、その歩道部の幅員の設置基準はございませんか。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

特段、設置基準はないようでございます。（301ページで訂正）

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

歩道の幅員の設置基準はないということですか。じゃ、極端に言えば歩道をちょっとでもとれば、50センチでもとればと、これは極端な話なんですけれども、歩道として50センチでもあれば、そういう簡易といいましようか、人、また自転車の防護さくでいい これある

と思うんですけれども。じゃ、はい、結構です。

県内でも唐津市の外津橋、これは海面と道路面がかなり高い橋が、きれいな橋が観光名所としてあります。ここでも2回、これも歩道側には歩行者、自転車用の防護さくが取り付けであったんですけれども、車が突き破る事故が2回あったと先般報道されておりました。佐賀県の担当者としては、設置基準の変更がない限り、取りかえる考えはないという報道がなされておりました。危険なところは、私はあくまでも設置基準がどうだからというようなことで済ますよりも、やっぱり2回もあっていたら、これは県の問題なんですけれども、早急に検討を要するところじゃなかろうかと思います。もしそういうところが当市にあるとするならば、それなりの検討を重ねられるお考えがあるかどうか、お尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

現在調査しました段階では、市道の中では御懸念のようなところはないようでございます。ただ、設置基準の変更については、基本的には国、県の指導によりたいというふうに思っておりますが、御指摘のとおり危険箇所というようなところがあれば、それについては独自でもするというような形で取り組んでいきたいというふうには思っております。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

先ほど部長の答弁では、やっぱりそれなりの対応を行うということでございますので、よろしく願いをいたします。

そして、そのほかに当市における古い橋、また危険、要するにひびが入っていたりとか、そういう橋梁の把握はできていますか。また、何力所ぐらいあるのか、またその対策は考えておられるのか、御答弁お願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

最初に答弁申し上げましたとおり、市道で15メートル以上橋梁があるのが84橋ございます。今回この84橋を緊急に調査いたしたわけなんですけれども、修理を早急にせんといかんという箇所は今回見つかっておりません。ただ、ボルトのさび等が発生しているところが何力所があったということで、これについては今後補修をしていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

じゃ、早急な対応をよろしくお願いいたします。

今部長の答弁は15メートル以上の橋について点検をされたような答弁でございました。今回旧北方町、旧山内町が合併し、町道から市道に変わったわけなんですけれども、小さな橋に落下防止のさくがついていない橋梁も、短い橋でたくさんあるかと思います。その中で、市道といいながらも重量的にも、例えば、8トン以上は無理かなというふうなものもあるかと思います。

そういう重量制限、また転落落下防止注意とかいう看板、また看板ができなければ蛍光ペイント等で縁石等に若干のペイントをつけて夜の注意を促す、またテープ等も張れたらそれも類じてやっていただくというようなお考えがあるかどうか、蛍光じゃなくても反射板というのもあるかと思います。そういう対策を、全部は一遍にはできないと思うんですけれども、危険箇所と思われるようなところには、そういう立て標識等の設置を考えておられるのかどうか、お尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

大石建設部長

大石建設部長〔登壇〕

御指摘の転落防止対策、それから重量制限、これについては特段ございませんけれども、15メートル以下の橋梁で防護さく設置の幅が確保できないというものがございまして、そういうものに対しては、御指摘のとおり立て標識、もしくは反射板などで注意喚起を促すように、これから対策をとっていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

私も今回の4月の選挙で新武雄市の議員として当選をさせていただきました。その中で、選挙外演の途中でわあっというふうなところもございました。そういった意味で、先ほど申し上げましたとおり、全部一遍にというのは無理でしょうから、徐々にそういう注意を促していただきたいと思っております。事が起きてしまってからでは遅いというふうな後悔先に立たずのあれじゃなくて、ぜひそういう検討をお願いいたしたいと思っております。

次に、最後になりますけれども、今はやりの「佐賀のがばいばあちゃん」のロケ誘致における市の将来への展望についてお尋ねをいたします。これは同僚議員も再三質問に立っておりますので、私なりの考えを述べさせていただき、御答弁をいただきたいと思っております。

市長の具約の中でも最重点課題であると思っております企業誘致の中の一環であると、私も認識をいたしております。当市におけるロケも、新聞によりますと、きょうが1次の最終日というふうな報道もされておりました。後半の3日、4日が雨にたたられたんじゃなかろうかと思っております。残念でなりません。全国へ武雄市の魅力の発信の起爆剤となることを願う市民の一人



でもございます。今回のロケ誘致において、今後どのようにこのロケ誘致を、またこの宣伝効果を活用されるお考えをお持ちか、お尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

二つに分けて答弁をしたいと思います。

まず、1月の放映までの取り組みは、さきの答弁でいたしたとおり、いかに視聴率を上げるか、いかに全国の皆さんにアピールをするかというところで、佐賀のがばいばあちゃん課はまたフル稼働で頑張るということになります。その後であります。今のところ、ロケのセットを基本的には武雄の観光、佐賀の観光に私は活用していきたいというふうに思っています。ただし、著作権はフジテレビが持つことになります。したがって、フジテレビの編成局長と私の間で覚書が取り交わされることになります。その覚書のところには、今のところ構造物については5年間は著作権はフジテレビにいて、残す場合は武雄市がきちんと管理をすると、それをもって観光に、例えば、「北の国から」のように観光の資源に使わせていただくという運びにしております。

ただ、この件に関しましても原作者の島田洋七さんの意向も聞かなければいけないということに当然なると思っていますので、今のところ私はそのように考えていますけれども、今後関係者にそういうふうに相談をしたいというふうに思っております。

いずれにしても、「佐賀のがばいばあちゃん」は、これは私はきっかけだというふうに思ったわけですね。これによって、いろんな情報発信であるとか観光であるとか、あるいは市民の皆さんの誇りであるとか、私は一石三鳥とか一石四鳥とかいう言葉が大好きであります。だから、私は一石を投じたという認識を持っています。だから、皆さん方でさらにそれが鳥になるように、私はこの場でお願いをしたいというふうに思っております。鳥の数は多ければ多いほどいいというふうに思っております。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

18番大渡議員

18番（大渡幸雄君）〔登壇〕

私もその鳥になるつもりでおりますので、いろんな友だちも、私も昔の役柄、ネットワークも若干なり持っておりますので、「佐賀のがばいばあちゃん」、大いに宣伝をしたいと思っております。

さきの8月の臨時議会におきまして15,000千円の、このロケ誘致に関する予算を議論したわけですが、私、これ2時間ドラマということに換算すると、全部が武雄市は出ませんけれども、武雄市という名前が至るところに番組の中に出てくれば、数億円以上の宣伝

効果があると思っております。ちなみに、私も映画が好きで、邦画専門なんですけれども、洋画も見ます、カーアクションあたりは。しかし、邦画の中で最近見た中で「UDON」、それに「バルトの学園」、「男たちの大和」、すべてロケ地の見学に行ってきております。そういうふうで、どうしても1回見れば、もちろん「佐賀のがばいばあちゃん」も見ました。ロケ地に行ってどういうセットでやっているか、それでここに何があるのかと、その地域の再発見もできます。

そういう意味で、今回のこの「佐賀のがばいばあちゃん」、市民こぞって市長が誇る日本一のがばいばあちゃんのテレビ番組にしたいというふうに考えます。微力ながら協力をし、新市発展のためにも私も再度頑張るつもりでおりますので、以上、お願いといろんな質問をやりましたけれども、よろしく御理解いただきまして、私の質問を終わります。

議長（杉原豊喜君）

それでは、以上で18番大渡議員の質問を終了させていただきます。

ここで3時まで暫時休憩をいたします。